熊本地域公共交通計画事業一覧表及び令和５年度の取組

資料４

熊本地域公共交通計画の体系

※目指す都市の将来像、公共交通が果たすべき役割、目指す公共交通の将来像、取組の方向性、計画の目標、施策展開の基本的な考え方、各事業の関係性について整理したもの。

都市の将来像

公共交通を基軸とした多核連携都市くまもと

公共交通の役割

1　日常生活に必要な移動を支えること

2　多核連携都市の実現に貢献すること

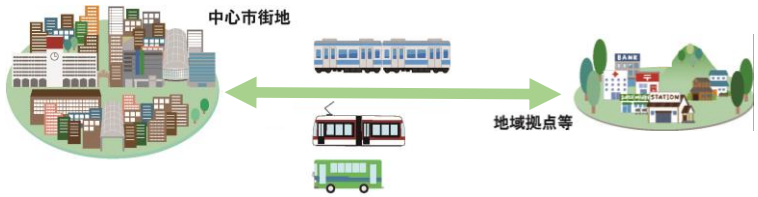
3　まちの賑わい創出・環境改善に貢献すること

公共交通の将来像

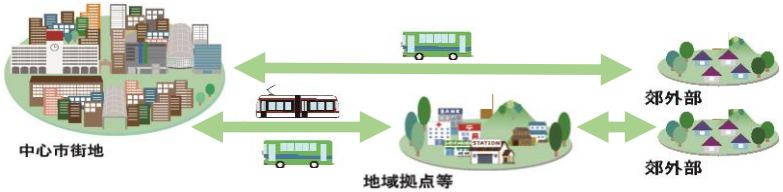
誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通

取組の方向性

1 コンパクトシティ ＋ ネットワークのまちづくり



2 広域都市圏を見据えた公共交通ネットワークの形成



3 地域社会全体で支え合う公共交通

計画の目標

1 まちづくりと連動した公共交通施策の展開

2 都市圏全体を見渡した利便性の高い持続可能な公共交通網の形成

3 住民・事業者・行政等の適切な役割分担と協働による公共交通の維持・確保

施策の展開

(1) 基幹公共交通の機能強化
- ゾーンシステムの導入
- 乗換拠点の整備
- 快速バス等の導入
- 公共車両等の走行環境の改善
- バス・鉄軌道等の輸送力の向上

(2)桜町バスターミナル・熊本駅を核とした交通体系の構築
- 桜町バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討

(3) バス路線網の再編
- 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築
- 環状線(まちなかループバス等)の運行
- 輸送資源を活用した交通体系の効率化

(4) コミュニティ交通の導入
- AIデマンドタクシーの導入の検討
- 新たなコミュニティ交通の導入

(5) 公共交通の利用促進
- バスロケーションシステム等の拡充
- 市電ロケーションシステム等の拡充
- バリアフリー対応車両の充実
- 電停のバリアフリー化（電停改良）
- P&R、C＆R等の拡充
- 交通事業者等と連携した利用促進
- 公共交通のシームレス化の推進
- 利用しやすい市電ダイヤの設定

(6) ベストミックスの構築
総合的な交通戦略の推進(道路施策等との連携)

※将来像や取組みの方向性、計画の目標は、現計画を踏襲

熊本地域公共交通計画事業一覧表

事業名称	事業概要	事業スケジュール 前期 H28年度～R2年度	事業スケジュール 後期 R3年度～R7年度	今年度（令和5年度）の取組内容	頁
事業（1） ゾーンシステムの導入	各種交通手段を幹線と支線に設定するゾーンシステムの導入	実施中	検討・実施	・植木方面について、共同経営計画（第１版）に基づき、路線バス事業者が幹線の最適化（重複路線の見直し・待ち時間の平準化）を実施中	—
事業（2） 乗換拠点の整備	ゾーンシステム乗換拠点や地域拠点乗換拠点、鉄道駅乗換拠点等における待合環境等の整備	実施中	検討・実施	・新水前寺駅東西高架下駐輪場の実態調査及び改修設計を実施（来年度工事予定） ・ベンチの設置（待合環境改善）	P3
事業（3） 快速バス等の導入	ゾーンシステム乗換拠点等からの快速バス等の導入検討		検討・実施	・熊本西環状道路（池上工区）工事（令和7年度完了予定）	—
事業（4-1） 公共車両等の走行環境の改善	バス専用（優先）レーンや公共車両優先システム（PTPS）の導入拡大検討	実施中	拡大検討	・候補区間全体でのバスレーン導入を仮定した場合の効果・影響について定量評価を実施	—
事業（4-2） 公共車両等の走行環境の改善	ボトルネック交差点の改良、バスベイの整備	実施中	拡大実施	・道路整備プログラムに沿った事業の実施 ・新外工区、八反田工区等の用地測量など用地買収に向けた準備を実施	—
事業（5） バス・鉄軌道等の輸送力の向上	大量輸送車両の導入や需要に応じた増便等による輸送力の向上	実施中	拡大実施	・多両編成車両（超低床電車）の製造（市電）	P4
事業（6） 新たな路線の検討	桜町バスターミナル、熊本駅を活用した新たなバス路線等の検討	実施中	拡大実施	・路線延伸、新規路線の運行 ・共同経営計画（第１版）の中で、桜町バスターミナルから熊本駅への路線を延伸(平日179便→215便　R3.4月) ・通町筋、桜町バスターミナル方面を通らない熊本駅長嶺線(直行便)の新規運行を実施(平日10便、土日各２０便　R3.4月) ・利用状況に合わせた運行見直しや新規路線の検討を実施	—
事業（7） バス路線網の再構築	共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築	実施中	拡大検討・実施	・路線バス事業に関するデータを公表 ・バス共通定期券の導入 ・共同経営計画（第１版）の実施、変更実施 ・共同経営計画（第２版）（第３版）の実施	—
事業（8） 環状線（まちなかループバス等）の導入	各基幹公共交通軸を補完する環状線の導入検討	実施中	拡大検討・実施	・熊本城周遊バス（しろめぐりん）の運行 ・東バイパスライナーの運行 ・まちなかループバスの運行（社会実験）	—
事業（9） 輸送資源を活用した交通体系の効率化	需要規模に応じた効率的・効果的な運行（ダウンサイジング等）		検討・実施	・ダウンサイジング等の検討 ・西南部におけるAIデマンドタクシーの実証実験を実施	P4
事業（10） 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入	公共交通空白地域等にデマンド型の乗合タクシー等を導入	実施中	拡大実施	・西南部におけるAIデマンドタクシーの実証実験を実施	P4
事業（11） 新たなコミュニティ交通の導入	地域の特性や実情に応じた新たなコミュニティ交通の導入検討		検討・実施	・子育て世代支援を目的としたAIデマンドタクシーの実証実験を実施 ・西南部におけるAIデマンドタクシーの実証実験を実施 ・まちなかでのグリーンスローモビリティの実証実験を実施	P4、P5
事業（12） バスロケーションシステム等の拡充	位置情報システム（ＧＰＳ）を活用したバスロケーションシステムやスマートバス停の拡充	実施中	拡大検討・実施	・バスきたくまさんの周知 ・バスロケの使い方周知	—
事業（13） 市電ロケーションシステム等の拡充	位置情報システム（ＧＰＳ）を活用した市電ロケーションシステムやスマート電停の拡充	実施中	拡大検討・実施	・デジタルサイネージで発信する行政情報や観光情報等に係る運用方法の検討	—
事業（14） バリアフリー対応車両の充実	ノンステップバスや超低床電車（LRV）の導入	実施中	拡大実施	・ノンステップバスの導入を促進 ・多両編成車両（超低床電車）の製造（市電）	—
事業（15） 電停のバリアフリー化（電停改良）	電停ホームのバリアフリー化（かさ上げ、拡幅等）	実施中	拡大実施	・商業高校前、健軍校前電停の改良	P5
事業（16） パークアンドライド（P&R）、サイクルアンドライド（Ｃ＆Ｒ）等の拡充	パークアンドライド（P&R）、サイクルアンドライド（C&R）、キスアンドライド（K&R）の整備	実施中	拡大検討・実施	・C&R駐輪場の基本設計を実施	P6
事業（17） 交通事業者等と連携した利用促進	バス事業者・関係機関等と連携した公共交通利用促進事業の実施	実施中	拡大検討・実施	・バス、電車無料の日を実施 ・バス、電車100円ウィークを実施 ・バス・電車ECOフェスタ2023を開催	P8
事業（18） 新しい生活様式への対応	新型コロナウイルスの感染リスク低減を図る取組の実施		拡大検討・実施	・感染症法上の５類移行に伴い、各種の取組は終了。引きつづき基本的な感染対策を実施	—
事業（19） 公共交通のシームレス化の推進	公共交通のシームレス化に向けたICT等の推進		検討・実施	・九州MaaSの導入に向けた関係者との協議	P6、P7
事業（20） 利用しやすい市電のダイヤ設定	市電ダイヤのラウンド化、等間隔化		検討・実施	・土日祝ダイヤのラウンド化・等間隔化を実施	P７

令和５年度の主な取組

事業（２）乗換拠点の整備（新水前寺駅駐輪場の改修）

＜概要＞

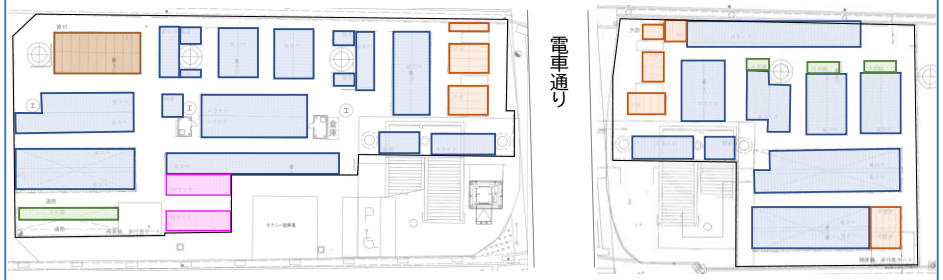
・収容率オーバーが常態化している新水前寺駅東西高架下駐輪場について、収容台数を増加するとともに、スポーツサイクル等の駐輪スペースや屋根の設置等、多様なニーズに対応した改修を行い、交通結節機能の強化を図る

＜取組状況＞

・駐輪場利用者を対象にアンケート調査を実施し、利用実態を把握
・アンケート調査や熊本市自転車利用推進協議会の意見をもとに、駐輪場の改修方針を検討
・配置計画、駐輪施設、代替駐輪場を活用した段階的な施工方法を検討し、来年度からの工事に向けて関係機関協議を実施中

課題	改修方針
収容台数の不足	• スライド式ラックを設置し、収容台数を確保
スポーツサイクル、電動アシスト付き子乗せ自転車が停めにくい	• 多様な自転車が駐輪できるスペースを設置
暗くて防犯面に不安	• 照明灯、防犯カメラの配置見直し・増設
利便設備の不足（場所によって雨に濡れてしまうなど）	• 必要な箇所への屋根、荷物置き、空気入れ等を設置

西（自転車384台→**568台**、原付21台→**21台**）　　**東**（自転車343台→**454台**）



凡例　2段ラック　1段ラック　縦置きラック　平置き（子乗せ自転車等）　原　付

▲配置計画

▲通路への駐輪状況

▲スライド式ラック

▲スタンドのない自転車の駐輪

▲縦置きラック

事業（２）乗換拠点の整備（バス停ベンチ設置）

＜概要＞

・バス停にベンチを設置し、待合環境の改善を推進することで、誰もが移動しやすく暮らしやすいバリアフリー環境をつくるとともに、公共交通の利用促進を図る

＜取組状況＞

・令和５年度に設置場所の現地調査や制度設計を実施
・令和５年度～令和６年度にかけて約１４０か所設置予定

（制度設計内容）
・熊本市がバス停にベンチを設置する
・ベンチの設置優先順位はベンチのニーズがある場所及び利用人数が多い場所
・ベンチに広告を掲載し、広告収入を得ることでベンチの維持管理費へ充当(図1)
・ベンチの構造については、広告が添付できる据え置き式を基本としながらも、各歩道幅員の状況を考慮した様々なベンチタイプを検討

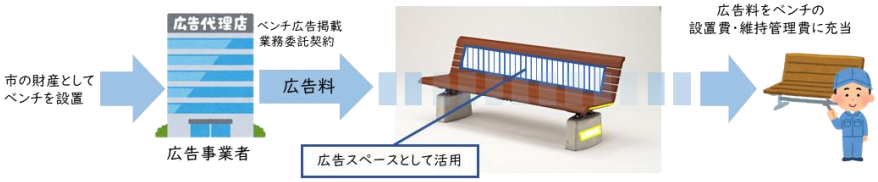


図１：広告事業のスキーム

他都市事例

令和５年度の主な取組

事業（５）多両編成車両の導入に向けた車両製造

＜概要＞

・超低床形で輸送力のある多両編成車両のR6年度導入に向けた車両製造を実施（R5年度は車体フレームを製作）
・R6年度、R7年度に各2編成（計4編成）導入予定
（R5-R6の2ヵ年で2編成製造、R6-R7の2ヵ年で2編成製造予定）

＜取組状況＞

【①主な基本仕様】
・既存車両における平均定員（約72人）の約1.5倍程度の定員設計
・実用的で座りやすいロングシートを全席採用
・車内移動に配慮した通路幅の確保

項目	新車両(案)	既存COCORO号(H26運行開始)
定員	112人程度 (座席42人)	86人(座席38人)
構成	1編成3車体	1編成2車体
車両長さ	21.35m	18.46m
座席	全箇所ロングシート	対面式クロスシート (一部)ロングシート
最小通路幅	1,200mm	710mm

【②外観・内装デザイン】

■外観デザイン（案）
（熊本城をモチーフにしたシンプルな外観）

■内装デザイン（案）
（バリアフリーやUDに配慮した車内空間・設備）

事業（９）～（11）ＡＩデマンドタクシーの実証実験

＜概要＞

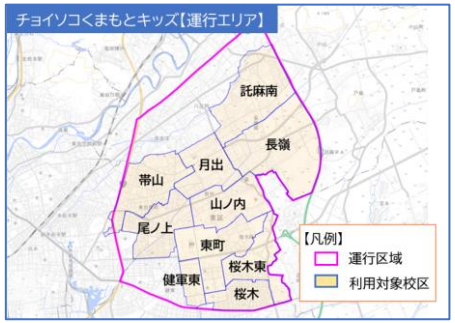
・AIを搭載したナビゲーションシステムを載せたジャンボタクシーが近い時間帯で移動を希望する人を乗り合わせながら効率的に送迎するサービス

▲AIデマンドタクシー

＜取組状況＞

【①チョイソコくまもと西南（郊外部）】
・令和4年11月より天明地区にて実証実験開始
・令和5年８月より運行エリアを飽田・小島・中島地区に拡大
・公共交通が不便な地域での、高齢者等の日常生活（通院・買い物等）の移動支援を目的とする
＜運行実績＞※R5.12末現在
・運行日数：275日
・利用件数：3,886件（1日平均：14件）
・直近1ヶ月の1日平均：16件
・相乗り率：55.6%
※令和6年度に西南地域及び植木地域への本格導入を目指す

▲郊外部



▲市外部

【②チョイソコくまもとキッズ（市街地部）】
・令和4年11月より実証実験開始
・小中学生の習い事先等への送迎利用を想定しており、子育て世代の送迎の負担軽減 を目的とする
＜運行実績＞※R5.12末現在
・運行日数：268日
・利用件数：5,010件（1日平均：19件）
・直近1ヶ月の1日平均：21件
・相乗り率：56.2%

令和５年度の主な取組

事業（11）グリーンスローモビリティの実証実験

＜概要＞

・グリーンスローモビリティ（以下、グリスロという。）とは、時速20km未満で公道を走行することができる4人以上の電動車両のことで、車両を含めた小さな移動サービスの総称

▲グリスロ車両

＜取組状況＞

【社会実験（上通周辺エリア）】

［目的］
・中心市街地の回遊性の向上等を図り、賑わいを創出
・長距離の移動が困難な方の移動を支援
・熊本電鉄との結節強化

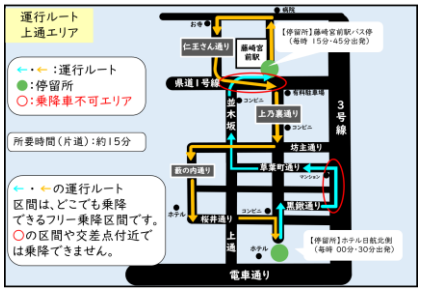
▲出発式の様子

［詳細］
・令和６年１月１３日から実証実験開始（3月12日まで）
・同日、びぷれす広場で出発式を開催（右写真）
・毎日９～１７時、３０分ごとに上通周辺をコースとする約２.５キロを運行（左下図）
・チラシ、SNS（LINE、X）、広報番組（テレビ）などグリスロの広報活動を実施

［その他特徴］
・（他交通モードと連携）バス・市電などの１日乗車券提示で乗車無料
・（商店街と連携）“乗って得する！くまもとぐるっと商店街”サービス適用（右下図）

［実績（速報値）］
・１月１３日～２３日（１１日間）利用件数：**１３６**件（１日平均１２件）

［今後の予定］**下通・新市街周辺エリアで社会実験**（令和6年3月中旬~5月中旬予定）



▲上通エリア運行ルート

▲サービス連携

事業（15）電停のバリアフリー化（電停改良）

＜概要＞

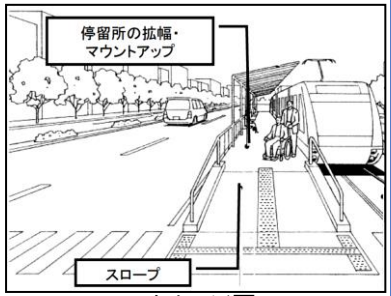
・電停の拡幅やかさ上げ（マウンドアップ）といったバリアフリー化（電停改良）を実施し、誰でも安全に利用しやすい環境を整備するとともに、乗降時間の短縮等による定時性、速達性の向上を図ることで、公共交通の利用促進を図る

＜取組状況＞

・R4年度の「熊本市バリアフリーマスタープラン」策定を契機に、バリアフリー化に向けた取組み方針として電停改良を位置付け、整備優先度の見直しを実施
・R5年度中に商業高校前及び健軍校前電停の改良が完了予定
・今後も計画的に事業に取り組む

【主な改良内容】

①電停の拡幅
・有効幅員1.5m以上を確保
②上屋の設置
③スロープの設置
・勾配5～8%以下の緩やかなスロープを設置
④電停の嵩上げ（マウントアップ）
⑤その他
・視覚障がい者誘導用ブロックの設置
・スロープへの手すり設置　など



イメージ図

【商業高校前電停】

着手前

施工状況

【健軍校前電停】

着手前

施工状況

令和５年度の主な取組

事業（16）ﾊﾟｰｸｱﾝﾄﾞﾗｲﾄﾞ（Ｐ＆Ｒ）、ｻｲｸﾙｱﾝﾄﾞﾗｲﾄﾞ（Ｃ＆Ｒ）等の拡充

＜概要＞

・乗換拠点や交通拠点において需要や特性に応じて整備を行い、利用者の利便性の向上のほか、公共交通への利用転換や自家用車流入抑制によるバス路線等の定時性・速達性の向上を図ることで、公共交通の利用促進を目的とする

＜取組状況＞

【①連携中枢都市圏 におけるP＆Rの推進のための取組】
・構成市町村と連携し、啓発用チラシの配布を行うなど利用促進活動を実施

【②植木バス停周辺におけるP&R、C＆Rの社会実験の実施】
・市有地を活用した地域との協働によるパーク&ライド社会実験を検討
・実施期間⇒R４年４月～R６年３月（次年度も引き続き実施予定）
・施設の稼働状況は増加傾向であるとともに、利用者の満足度も非常に高い。

【稼働状況(R5.4月　⇒　R6.2月)】
定期：３名⇒５名　/　一時：２１名⇒３２名　/　駐輪場：２名⇒１名

【モニターアンケート結果(R5.9月)】

・パーク＆ライド及びサイクル＆ライド駐車場の利用頻度について(一時利用)

回答	割合
週1回以上	20%
週4回以上	10%
月1回以上	50%
その他(未回答含む)	20%

・植木地区でのパーク＆ライド及びサイクル＆ライド駐車場についての満足度

回答	割合
満足	82%
不満足	9%
どちらでもない	9%

▲植木バス停周辺地図

▲社会実験駐車場写真（R5.12）

事業（19）ＭａａＳの推進

＜概要＞

・本市では、より広域でシームレスな移動を実現するため、「九州MaaS」に参画し、「九州MaaS」実現に向け、九州各県、政令市及び事業者と連携し、協議を進めている

【九州MaaSとは】
九州MaaSは、乗換を前提とした様々な移動手段によって支えられる新たな交通ネットワーク像を前提とし、そのような社会環境においても、公共交通が選ばれる環境を創出し、持続可能な地域公共交通の実現や観光分野等も含む移動の円滑化による地域経済の活性化を図ること

＜取組状況＞

【九州MaaSプロジェクト研究会・九州MaaS実行組織準備会】

・九州MaaSプロジェクト研究会に令和４年８月の発足当時から委員として全７回に参加。令和５年５月の第４３回九州地域戦略会議で「九州MaaSグランドデザイン」が承認された
・令和５年６月に、同研究会から九州MaaS実行組織準備会が発足し、熊本市は、オブザーバーとして参加中
・サービスプラットフォーム（MaaSアプリ）を「my route」に決定し、令和６年度のサービス導入に向け、九州MaaS実行組織準備会で運営方法や官民での費用負担等の議論を行っている

【今後の予定】

・令和６年春ごろに、（仮称）一般社団法人九州MaaS協議会が発足予定
・同年、夏頃にサービス（my routeを利用）本格開始となる予定
・サービス開始に向けて、県と連携を取りながら今後の準備を進めていく

▲九州MaaSグランドデザイン

▲my routeイメージ

令和５年度の主な取組

事業（19）キャッシュレス決済の推進及び顔認証の実証実験

＜概要＞

・令和4年度に実証実験を実施していたクレジットカードのタッチ決済を、令和5年度から本格導入
・QRコード決済を本格導入
・顔認証の実証実験を実施中（令和6年（2024年）3月31日まで）

＜取組状況＞

【①クレジットカードのタッチ決済】

・令和4年7月7日から一部車両にて実証実験を実施していたが、令和5年4月25日から全車両を対象にし、本格導入
・本格導入に合わせてブランドの追加を行い、9月にも更にブランドを追加

時期	R4.7.7～R5.4.24（実証実験）	R5.4.25～R5.9.27（R5.4.25から本格導入）	R5.9.28～
対象ブランド	Visaのみ	左記に加え、下記を追加 JCB 、American Express 、Diners Club、Discover	左記に加え、銀聯を追加
対象車両	一部車両のみ	全車両	

【②QRコード決済】

・タッチ決済と同じく、令和5年4月25日から本格導入
※実証実験期間なし

タッチ決済とQRコード決済の一体型端末▶

【③顔認証の実証実験】

・令和5年12月20日から、顔認証による市電乗車の実証実験を開始
・一部車両（43編成のうち10編成）のみ対象
・モバイル定期券を活用した方法と、顔認証毎に都度運賃が支払われる方法の2つの方法を実施
・実証実験の結果を経て、効果検証により令和6年度以降の実装を検討

▲車内での顔認証の様子

▲2秒以内で認証

▲認証時のタブレット画面

事業（20）利用しやすい市電のダイヤ設定

＜概要＞

・土日祝日について、昼間帯のダイヤをラウンド化（※1）及び等間隔化（※2）を実施し、市電の利便性向上を図るもの（平日ダイヤは令和4年度から実施中）

※1　毎時間同じ時刻に市電が到着するダイヤ
※2　運行間隔が等間隔になるようなダイヤ

＜取組状況＞

【①ダイヤ改正の実施】

・令和５年５月13日に土日祝ダイヤの改正を行い、日中の時間帯についてラウンド化、等間隔化を実施。

【②ラウンド化・等間隔化後の時刻表（健軍町下り停留場）】

	土曜日	
	熊本駅前・田崎橋行	上熊本行
5		
6	20 50	35
7	10 ○30 50	00 20 40
8	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
9	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
10	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
11	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
12	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
13	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
14	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
15	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
16	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
17	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
18	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
19	00 10 20 27 30 40 50	05 15 25 35 45 55
20	00 ※09 12 24 36 48	○06 18 ※30 42 54
21	00 12 熊25 39 53	07 19 33 47 58
22	07 ※53	14 29 43
23	※06 ※12	

	日祝日	
	熊本駅前・田崎橋行	上熊本行
5		
6	20 50	35
7	10 ○30 50	00 20 40
8	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
9	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
10	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
11	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
12	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
13	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
14	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
15	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
16	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
17	00 10 15 25 ○30 40 45 55	●05 20 35 50
18	00 10 15 25 ◎30 40 45 55	○05 20 35 50
19	00 10 20 27 30 40 50	05 15 25 35 45 55
20	00 ※08 12 24 36 48	○06 18 ※30 42 55
21	03 18 33 熊48	10 25 40
22	22 ※09 ※32 ※46	00 18
23	※02	

令和５年度の主な取組

事業（17）バス・電車無料の日、100円ウィーク

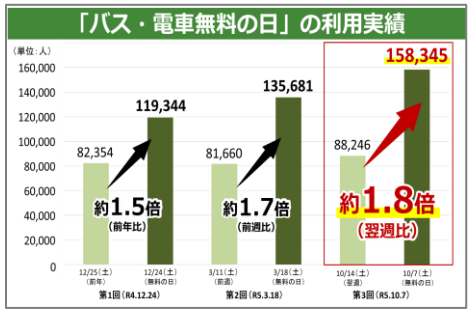
＜概要＞

・公共交通を利用する“きっかけ”をつくるとともに、自動車から公共交通への転換による交通渋滞の緩和を図るため「バス・電車無料の日」、「バス・電車100円ウィーク」を実施

＜取組状況＞

【①バス・電車無料の日】

■開催日
令和５年１０月７日（土）、令和５年１２月２３日（土）
■対象路線
熊本市を一部でも通過する路線バス、熊本電鉄電車・熊本市電の全線
■実施主体
熊本市（協力：九州産交バス、産交バス、熊本電鉄、熊本バス、熊本都市バス、熊本市交通局）
■他市町村との連携
合志市、宇土市、菊池市、益城町、山都町が無料の日に合わせてコミュニティ交通の無料化を実施



▲利用者数推移（無料の日）

▲実施状況（熊本駅）

【②「バス・電車100円ウィーク」】

■開催日
令和６年２月５日（月）
～令和６年２月１１日（日）
■対象路線及び実施主体
「バス・電車無料の日」と同じ

※現在、データ収集作業中

▲実施状況（通町筋）